

日本動物大賞グランプリ（1点）

●特定非営利活動法人 地域交流センター（東京都） 殿

プロフィール

1976年4月発足。「交流」の中からまちづくりに関わる意見交換を行い、実践活動に結び付けている。「道の駅」の社会実験、「まちの駅」の推進、「Eポート」の開発のほか、全国首長連携交流会、提言・実践首長会の事務局を務める。近年、全国的緊急課題である「鳥獣被害対策」の提案にも取り組んでいる。

受賞理由

人間の飼っている動物と大自然の中で生きている動物との違いについて、人間は今急速に新しい視点から見直しつつあります。しかし、その努力は未だ完成されて居りません。

そんな状態の中で、私たちはいかに一歩ずつ進んでいくべきか？地域交流センターの御努力はこんな点にも多くの示唆を与えてくれています。

なかなか難しい「棲み分け」をどんなふうにも実際にあつかうのか、そこに伝統的な村の習慣を活かし、直すやり方を進めて居られる点が、興味深いと思います。村人が犬を伴として、野生の生き物と向きあっていく、ここに新しい視野が開けてくる一つのポイントが示されました。さらなる前進の御報告をお待ちしたいと心から願います。



功勞動物賞（3点）

●マーレ（ミニチュアダックスフント）風祭紀子 殿

プロフィール

2003年3月17日に誕生。生後6ヶ月より風祭家の一員となる。明るい性格で人なつこく、他の動物へも優しく接することができることからトレーナーからの勧めもあり、2004年5月にJAHAに入会、人と動物のふれあい活動（CAPP）への参加を開始し、2009年4月に活動の核となる「認定パートナーズ」を取得する。老人福祉施設、障がい者施設、病院、小学校等で活動している。

受賞理由

高齢者や病院に入院されている人々、障がい者などの中には、動物と触れ合った過去をお持ちの方々も、そうでない方々も居られると思います。ダックスフントという親しみやすい個体とハンドラーのコンビが、そんな方々を、親しみに満ちた新しい体験を創り出していく！素晴らしい御努力に深い感謝をささげます。



●ブラトウ（ポニー） 埼玉県こども動物自然公園 殿

プロフィール

1977年6月10日生まれのブラトウは、動物園開園の1980年から2009年までの約29年間、ポニー乗馬コーナーで活躍し、数えきれないほどの子供達を乗せ、たくさんの思い出を作ってくれた。性格もとても穏やかで、多くの来園者と飼育係に愛された。

受賞理由

動物に触れてみたいけれど、なんだか怖い、そんな人々と自然に触れ合い、温かい親しい関係を作っていただきました。動物園を訪れた子どもたちや障がい者の方々のために長い間、愛おしくお付き合いいただいた、ブラトウさん！ありがとう、素晴らしい御努力を、私たちは永遠に忘れません。



●コスモ（ポニー） 富山市ファミリーパーク 殿

プロフィール

当園の開園時（1984年）に来園したポニーで、公募により愛称「コスモ」と名付けられ、若い頃から真っ白な姿が子供たちの人気の的となる。現在は当園の歴史を知る唯一の動物となり、30歳を越えた今も元気で入園者に親しまれて

いる。

受賞理由

素晴らしい体験を来園された子どもたちに与えてくださいました！コスモさん本当にありがとうございます！



動物愛護賞（3点）

●海響館ホエールボランティア（山口県）殿

プロフィール

海響館ホエールボランティアは、1999年7月に発足し、下関市を中心とした山口県及び北九州市沿岸域において、スナメリをはじめとする鯨類に関する情報収集や調査を行い、彼らの生態の解明に寄与すると共に、普及啓発を目的として活動している。

受賞理由

鯨と人間、その間をどんなふうに開いていくのか、今国際的な議論がされる中、私たちはまず、日本にいる自分と鯨を本当に見つめてきたのでしょうか、それを見直すことこそ

必要ではありませんか。例えば、鯨の仲間であるスナメリは、日本の近くで、私たちに繋がりのある生き物です。もっと知りたい、まさにホエールボランティアがそのために努力されていることを高く評価いたします。



●日本獣医生命科学大学 石巻救護班（東京都）殿

プロフィール

東日本大震災で被災した動物の保護・治療を目的に、石巻・仙台市・宮城県の各獣医師会の連携により石巻動物救護センターが設立され、日本獣医生命科学大学では、獣医学部所属の教員・大学院生の計 11 名で石巻動物救護班を結成し、同センターにて動物救護活動を行った。

受賞理由

日本を襲った 3・11 の大震災については様々な方々が、そのために走り回られました。その中でも大学で研究に努力して居られる人々が、あえて現場に飛び込んで下さったのは嬉しいです。それによって逆に「学問」にももっと大きい深い実りを結んで下さるのだと、私たちは信じます。



●みゅーまる（神奈川県）殿

プロフィール

music+animal=みゅーまる♪

動物達にも心があり、私達と同じ命を持っていることを、音楽やお芝居を通して、小さなお子さんから大人まで、ダイレクトに心に響く方法で伝える活動をしている。

また音楽療法と組み合わせ、動物達と高齢者施設訪問も行っている。

受賞理由

いろいろな方面の方々が、動物との関係を深く考えて下さるようになりました。こんな芽がミュージカルにも広がっていったのは素晴らしいことです。美しい歌の中で、語られていくのは、犬たちが受けた無知ゆえの怖ろしい仕打ちです、私たちはしっかりとその歌声に耳を傾けています。



*受賞理由は、羽仁 進審査委員長のコメントによります。

審査委員会

審査委員メンバー（50音順）

委員長 羽仁 進（映画監督、世界自然・野生動物映画祭審査委員長）

副委員長 杉山 公宏（公益財団法人日本動物愛護協会理事長）

委員 加藤 由子（動物ライター、ヒトと動物の関係学会監事）

委員 小宮 輝之（前上野動物園長）

委員 湯川れい子（音楽評論家、日本パンダ保護協会評議員）

（公財）日本動物愛護協会事務局